

入隊予定者のつなぎ広報で三宿駐屯地を見学



装備品展示で説明を受ける参加者達
(陸上自衛隊衛生学校)



自衛隊中央病院の受付の説明を受ける様子



自衛隊中央病院の病室案内の様子

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所(所長 野田3海佐)は2月19日(火)、東部方面隊がつなぎ広報として企画した三宿駐屯地見学に、陸上自衛隊に自衛官候補生として入隊予定の2名とともに参加した。

見学場所は、三宿駐屯地に所在する陸上自衛隊衛生学校と自衛隊中央病院で、まず陸上自衛隊衛生学校では、ブリーフィング、衛生科装備品展示、隊員食堂での体験喫食、施設見学が行われた。

装備品展示では、野外手術システムや1・1/2t救急車が展示され、入隊予定者は説明を受けながら、車両の内部を見学し、興味津々の様子で質問もしていた。

その後、自衛隊中央病院では受付及び病室を見学した。通常受付として使われている受付フロアは、「災害が起きた時に臨時救護施設になる」と説明を受けた。次に外へ移動し、CH-47Jが離発着できる機能を備えたヘリポートの見学が行われ、首都圏での大規模災害発生時の重要な医療拠点となる自衛隊中央病院の最新設備を知ることができ、とても充実した見学となった。

入隊予定者からは、「入隊前に駐屯地を見学することで、普段の生活や訓練の様子を知ることができて、安心に繋がりました」「救急救命士の知識と技術を活かせる仕事を知ることができ、入隊意欲が向上しました」と頼もしい言葉を聞くことができた。

厚木募集案内所は、「今後も様々な機会を通じて自衛隊員の活躍する現場を多くの人に見て知ってもらふことで、1人でも多くの志願者を獲得できるよう募集活動に励んでいきたい」としている。

陸上自衛隊高等工科学校入校予定者家族懇親会で不安を払拭



説明を行う目黒氏(左手前)、本間氏(左奥)と入校予定者とその家族(右側)

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所(所長 野田3海佐)は3月2日(土)、陸上自衛隊高等工科学校入校予定者2名とその保護者4名に対する家族説明会及び懇親会を実施した。

これは、入校予定者と保護者の入校前の不安を解消する目的として実施したもので、陸上自衛隊高等工科学校全国生徒育成会連合会神奈川県支部会員で、ご子息が高等工科学校に在籍する目黒氏と本間氏の支援を受けて行われた。

参加した保護者からは、「入校後は連絡が取れるのか」「生活の様子はどのようなのか」等、保護者の視点で多くの質問があり、会員が自身の体験を基に丁寧に受け答えを行った。2人のご子息が在籍している目黒氏は、「兄が入校した時も淋しくて仕方なかったのに、弟まで入校してとても淋しかったです。でも、3年間でこんなにも人間性を育ててくれる組織はないので、この学校に入って本当に良かったと今は思っています」と保護者の心境を語り、参加した入校予定者と保護者に安心感を与えていた。また、入校予定者2名もお互いに情報交換を行い、「体験談を聞くことができて不安がなくなりました」「一緒に入校する仲間と親しくなれたので心強いです」等、懇親会が終わる頃にはすっかりと意気投合していた。

参加した保護者からは、「入校前にこのような機会をいただき、不安が解消できました。また不明なことが出てきたら、会員の方にご相談をさせていただきます」と思っています。ありがとうございました」との言葉をいただきました。

厚木募集案内所は、「今後も各協力団体の支援をいただき、家族説明会などの場面を通して入校予定者の不安を払拭し、送り出す保護者の方々への信頼も獲得できるよう募集活動に励んでいきたい」としている。